

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】GI-7

申請日	2011/7/13	承認日	委員長	印	
レジメン登録		仮承認日	2011/7/13	承認者	印

GEM+S-1(胆管癌) 療法	病名	胆管癌	消化器内科	医師名	Dr
対象	切除不能な胆管癌				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)																			
			1	5	8	10	15	20	25	30												
ゲムシタビン	1000mg/m ²	div	○		○																	
S-1	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	※	po(夕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース

【投与処方例(前投薬など)】

*ゲムシタビン投与中は温罨法を行う。

- ① メインルート【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液100mL+デキサート8mg /div 30分
- ③ メイン【赤-2】5%ブドウ糖液100mL+ゲムシタビン /div 30分

*腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、S-1等の投与量を変更すること

Ccr60~80mL/min 初回量より必要に応じて1段階減量

Ccr40~59mL/min 原則として1段階減量

Ccr30～39mL/min 原則として2段階減量

Ccr30以下は禁忌

※S-1の内服量

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
～<1.25m ²	40mg/回	30mg/回	25mg/回
1.25m ² ≦～<1.5m ²	50mg/回	40mg/回	30mg/回
1.5m ² ≦～	60mg/回	50mg/回	40mg/回

※ゲムシタビン

Ccr59mL/min 投与量は基本的に正常者と同じだが、ゲムシタビンの代謝物のクリアランスが低下するため慎重に投与する必要がある。

【提出論文】JCOG0805試験;Morizane C et al: Cancer Sci 104 (9) : 1211-1216 (2013)

当院患者治療目的以外に
使用不可